

## スラブ・ユーラシア研究センターの長縄宣博教授が 第18回（令和3年度）日本学術振興会賞を受賞

### 【賞の概要】

日本学術振興会賞は、人文、社会科学及び自然科学の全分野において、優れた研究を進めている若手研究者（45歳未満）を対象にしています。早い段階から顕彰してその研究意欲を高め、独創的、先駆的な研究を支援することで、我が国の学術研究の水準を世界のトップレベルにおいて発展させることを目的として、平成16年度に創設されました。

### 【受賞内容】

研究課題      ロシアとイスラーム世界の絡まり合いについての総合的研究（Explorations in Entanglements of Russia's Empire and the Muslim World）

受賞者      長縄 宣博（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 教授）

授賞式      令和4年2月3日（木）日本学士院（東京都台東区上野公園7-32）にて開催

### 【受賞理由】

長縄教授の研究は、20世紀前半、ロシア帝国論とムスリム社会論が交差する、ヴォルガ・ウラル地域の、タタール民族社会に焦点をあて、ロシア語、タタール語など多言語史料を駆使し、とくにロシア帝国内におけるムスリム・コミュニティの宗教と、現実的な共同体秩序の両面から考察しています。

このような着眼点は世界的に極めて独創的であり、長縄氏の「ロシアのなかのムスリム」論はすでに世界の学界で認知された成果となっています。なかでも2017年に刊行された主著の評価は極めて高く、ロシア帝国による権利と義務の分配、政府による非ロシア人ナショナリズムへの警戒、ムスリムでありロシア市民であることの重層性、オスマン帝国などの周辺諸国との関係などにも言及しつつ、ロシア帝国内におけるムスリムたちの姿を鮮やかに描いています。

長縄氏の研究はさらに、諸勢力・諸宗教が絡み合う現代社会の問題を考える上でもさまざまな示唆を与えており、今後ロシア史研究の分野において世界を牽引する研究者として更なる発展が期待できるとの理由から受賞に至りました。

### お問い合わせ先

北海道大学研究推進部研究振興企画課研究企画担当

T E L 011-706-2025      F A X 011-706-4873      メール k-senryaku@research.hokudai.ac.jp

### 配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610      F A X 011-706-2092      メール jp-press@general.hokudai.ac.jp